

## 日本での交換留学

シドニー工科大学  
アノワー イライザ

日本での学期交換留学中で、私は忘れられない冒険を経験し、友情を築き、自分自身の成長につながる壁を乗り越えました。

交換留学の初めの数か月間は、授業に出席し、友達を作り、寮の部屋を整え、料理を学ぶことに集中しました。変化は厳しく、オーストラリアとは異なる新しい環境に戸惑いました。しかし、友人や先輩、音羽館のスタッフ、お茶の水女子大学のスタッフのサポートを受けて、徐々に適応していきました。時間が経つにつれ、留学の経験に夢中になり、日本での生活に大きく愛着を持つようになりました。

初めの数週間は、日本語で話すことにとても緊張し、授業も難しかったです。文法、読解、文章作成、日本文化、漢字など、さまざまな日本語の授業を受けました。これらの授業は私の日本語スキルを大いに向上させ、自信をつけることにつながりました。特に佐々木先生と黄先生などのサポートがあり、彼女らは私に対して忍耐強く接してくれました。また、英語と日本語のカフェにも参加し、地元の日本人学生や留学生と両言語で会話しました。また、「Globalization&Labour」という英語の授業にも参加し、キャロル先生から世界職場文化について幅広く学びました。

また、70人以上の学生が参加する学生ダンス部である「お茶 Flow Jazz Club」にも参加しました。ジャズ、ヒップホップ、コンテンポラリー、ガールズスタイル、K-POP、ストリートダンスなど、さまざまなダンススタイルがあります。全てのダンサーは熱心に練習しており、現在は9月のショーに向けてリハーサルを行っています。



週に2~3回のダンストレーニングに参加し、筋力トレーニング、ダンスのテクニック、振り付けの習得に集中しています。この部に参加することで、楽しく、ストレスの解消にもなり、また日本語力も大幅に向上させることができました。

お茶の水女子大学に滞在している間、東京内の別の地域や他県にも旅行しました。特に、海辺の近くにある鎌倉と江の島は私のお気に入りの場所でした。海辺を散歩し、寺院を訪れ、地元の食べ物を楽しむことができました。ゴールデンウィークには金沢に行き、美しい兼六園と金沢城を探索しました。また、宮崎県の青島にも行きました。青島もまた美しい海辺の町で、サーフィンを楽しんだり、甘いマンゴーを食べたりすることができました。日本のさまざまな場所に旅行することは、留学の中で最高の経験であり、日本語を話す自信を高めることにつながりました。

最後に、お茶の水女子大学の皆さんに感謝を伝えたいと思います。特に私を快く迎えてくれた戸谷先生に感謝します。役に立つ情報や導きをしてくれた萩原先生に感謝します。お茶の水女子大学での生活について多くの質問に答えてくれた先輩方にも感謝します。また、国際交流部、音羽館スタッフ、お茶の水女子大学のセキュリティーガードの方々にも大きな感謝を捧げます。お茶の水女子大学のサポートがあったからこそ、私の生活は快適で楽しいものになりました。

